

内海小かわら版

4月号

令和2年度第1号 4月7日発行

E-mail utsumi-e@saturn.plala.or.jp URL <http://minamichita.ed.jp/~utsumisho/>



本年度の内海小学校の教育について



校長 永井孝夫

新型コロナウイルス禍が、世界を覆う中、4月6日（月）は、**びかぴかの1年生31名**を迎え、春の陽光の下で入学式を行うことができました。感染症対策で入学式会場内の人数は制限をさせていただきましたが、新入生一人一人の「はい」という元気な返事が体育館の外まで響き、このような状況だからこそ、より一層喜びが感じられました。新1年生として、自分なりのペースで小学校の生活に慣れ、充実した学校生活を送ってほしいと願っています。

今年度の全校児童は昨年度と同様、**209名**です。始業式式辞では、「**ことば**」を大切に、自分なりの目標を立てようと話をしました。感染症対策が長期戦となる中、教育活動における想定をより多くし、子どもたちのために、全力で教育活動に取り組んでまいります。本年度もよろしくお祈りいたします。

令和2年度本校の教育目標

人間性豊かで 自己のもつ能力を最大限に発揮できる 心身ともに健全な子どもの育成

めざす児童像

考える子ども...よく見て聞いて、考えをはっきり伝える子
明るい子ども...夢をもち、素直で、仲良く助け合う子
元気な子ども...粘り強い心とじょうぶな体づくりに励む子

<校訓>

「よく考え 明るく
たくましく」

本年度の重点努力目標に対する方策（下線部は、昨年度との変更や追加点）

《豊かな人間性の育成》

- ◎言葉を大切にする指導を心がけ、個の違いを認める温かい関係づくりや思いやりを育てる。
- 学級・縦割り班・通学班での主体的な活動を工夫し、コミュニケーション力の育成に努める。
- 社会体験、自然体験、奉仕・生産体験など児童の心に響く、豊かな体験活動を推進する。

《確かな学力の定着》

- ◎教育活動全体を通して、考え表現する力を育む言語活動の充実を図る。
- 学習のルールを定着させ、学び方を工夫しながら、基礎基本の定着を図る。
- 朝読書、読み聞かせ、家庭読書を推進し、読書習慣の定着を図る。

《たくましい心身の育成》

- ◎心のこもったあいさつ、時間の見通し、整理整頓、静かな教室移動、もくもく清掃の指導を中心とした基本的な生活習慣の徹底を図る。
- 体育の授業、外遊び・体育的行事を中心に、運動の楽しさや仲間と活動する喜びを味わえるようにする。また、食育・健康教育を通して、健康増進に向けての知識・意欲を高める。
- 地域と連携し、日常の安全指導や防災学習を通して、危機回避および対応能力を育成する。

《その他》

- ◎教員自身が生き方のモデルとして生き生きとできるよう、学校業務の適正化に努める。
- 教職員間で、的確な情報の共有を図り、組織の強化に努める。
- P T A・家庭教育を推める会、内海保育所・内海中学校・町内小学校ならびに地域・関係機関との連携を深め、地域の核と認められる学校力の一層の向上を図る。



上記のほかに、危機管理（防災・防犯、感染症対策など）をしっかりと、最新の識見に基づく改善を通して、安全安心な学校づくりを推進してまいります。予測困難な社会を踏まえ、これまで以上に情報発信と共有に力を注ぎ、実情に即した対応に努めていきますので、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。